

「新型コロナウイルス感染症の対応 について」

当院では、これまでも医師、看護師、薬剤師、検査技師を中心とした感染制御チームを構成し、患者さま、ルス感染症の急速な拡大が起きた原因につきましては、保健所ならびに専門家の先生方によるご指導と分析報告させていただきます。

職員そしてすべての来訪者に対する感染防止対策に取り組んでまいりました。しかし、今回新型コロナウイルス感染症の結果を踏まえて重点を整理し、今後更に対策の強化をおこなってまいります。以下にその内容についてご紹介させていただきます。

1. 外来の対応について

発熱や呼吸器症状など新型コロナウイルス感染症を疑う患者さまは、これまでと同様に一般の患者さまとの接触を避けるために専用外来エリアでの診療をおこないます。病院玄関では来院者の検温を行いマスク着用と手指消毒をお願いしております。

2. 検査体制について

当院は、PCR検査の設備を持っておらず、業者への委託を要するため迅速な診断ができませんでした。

今回、院内で実施可能な抗原検査(定量)の設備を整えることで医師が必要と判断したときにはすみやかに検査を実施できる体制となりました。今後は新型コロナウイルス感染症の早期診断ならびに救急を含むすべての入院患者さま、手術を受けられる方、そして医療従事者の安全を確保するために、患者さまの同意のもとに検査を行ってまいります。

3. 入院時の対応について

入院予定の患者さまへは2週間前からの不要不急の外出自粛、発熱などの症状がある場合や新型コロナウイルス感染症患者との接触歴が疑われる場合は事前にご連絡いただくことをお願いしております。入院当日には体調チェックシートで確認をさせていただいております。また、今回検査体制を整備したことで予定入院の方は事前にPCR検査または抗原検査(定量)を受けていただき、結果を確認したうえでご入院いただくことといたしました。救急で入院される方にも同様に検査を実施し、結果が判明するまでは個室等にお入りいただくことで院内感染の予防に努めてまいります。

4. 新型コロナウイルス感染症を疑う患者さまの対応について

新型コロナウイルス感染症を疑う患者さまが入院される場合は、専用個室に入室いただき適切な防護具を使用したスタッフが対応しております。

5. 職員の健康管理と感染予防教育について

職員は出勤前に体温測定を行い体調不良がある場合は出勤せずに連絡することとしております。また、これまでも勤務時はマスク着用と手指消毒を励行してまいりましたが不十分な点があった可能性が考えられました。現在では患者さまに接する前後、その他必要とされている場面での手指消毒の徹底をおこなっております。手袋やエプロンなどの个人防护具の正しい着脱方法についてもすべての職員に再教育を行いました。

今後も定期的に教育と実施状況の確認を行いながら感染予防に努めてまいります。

6. 環境対策について

医療環境は医療関連感染の感染源あるいはリザーバーとなることが報告されその対策が重要視されています。これまでも病院内の環境消毒は手が触れる場所を中心に定期的に行ってまいりましたが、今回のクラスター発生時の対応として人が触れずに病院の環境を浄化できる紫外線照射装置(UV装置)による環境浄化を行いました。今後も環境消毒を確実に実施したうえでこのUV装置を導入し新型コロナウイルスのみならず多剤耐性菌などによる医療関連感染予防を強化してまいります。

7. 面会制限について

面会制限は、病棟内に入出入りする人を減らし外部との接触を避けることで入院患者さまの感染リスクを低減させることが目的です。引き続きご不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。また変更につきましては、地域の流行状況によって検討してまいります。

以下の場合に限りご面会を可能としております。

- ① 入退院時の手続き
- ② 病状説明、手術時の待機など病院が要請した場合
- ③ 付き添いや面会を病院が許可した場合



体温測定



非接触型 顔認証体温測定カメラ